



## 1950-1960

〈昭和25-35年〉

戦後の復興期に大志を抱き  
「関市」の第一歩を踏み出す

### 洞戸



昭和26年、第1回村民運動会を開催。

### 板取



昭和29年、上ヶ瀬橋が木製つり橋(写真)から永久橋になりました。

### 武芸川



昭和27年、平和への願いを込めて寺尾区民総出で300本の桜の苗木が植えられました(写真は現在のもの)。

### 武儀



昭和30年、下之保・中之保・富之保の3つの村が合併し武儀村が誕生しました(写真は旧武儀町役場)。

### 上之保



昭和34年の伊勢湾台風、昭和35年の台風11・12号、昭和36年の第2室戸台風により3年続けて被害を受けました。



昭和34年9月、伊勢湾台風時の鮎之瀬橋(死者10人、負傷者6人、多くの家屋が被害を受けました)。



天下の奇祭で有名な倉知祭り(昭和38年まで、けんか神輿が行われました)。



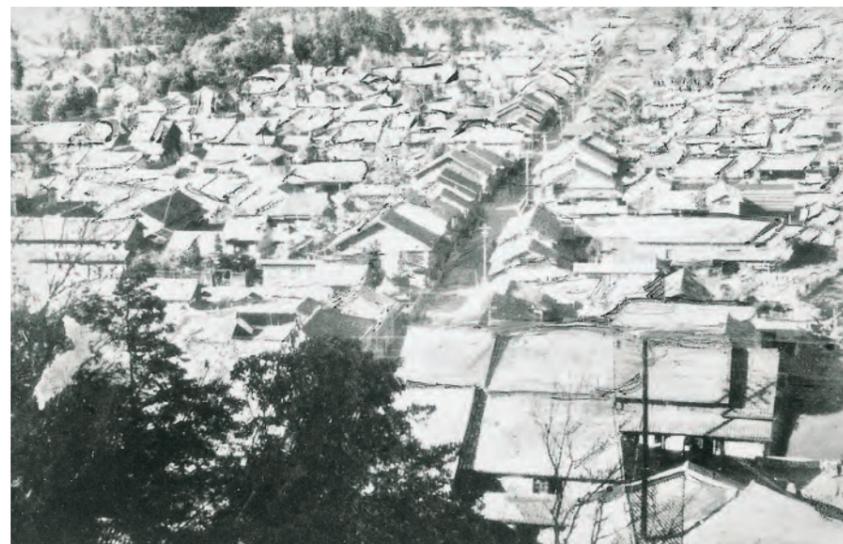
昭和34年7月、鉄筋コンクリート造4階建の市庁舎が完成。



昭和32年4月、昭和天皇皇后両陛下が国土緑化大会に来県され、関市の刃物産業を視察されました。



千疋と小屋名を結んだ千疋渡船(昭和35年5月、千疋大橋の完成まで続きました)。



昭和25年、市制施行当時の市街地風景。



昭和28年、弥勒寺跡第1次発掘調査実施(昭和34年国指定の重要文化財となる)。



昭和27年、国鉄越美南線関口駅が完成。



昭和25年、市制施行祝賀事業が12月1日~3日にかけて行われた時の小瀬1号組の人たちによる大名行列の出し物。



昭和31年、関市連合青年団のキャンプ講習会の記念撮影。当時は青年団活動が活発でした。

1950年〈昭和25年〉

- 10月15日市制施行、県下で5番目(人口30,513人、初代市長に亀山一二氏就任)
- 上水道敷設工事着工
- 市連合青年団結成

1951年〈昭和26年〉

- 母子寮、養老院開設
- 下有知村合併
- 市連合婦人会結成
- 学校給食を小学校で開始

1952年〈昭和27年〉

- 国鉄越美南線関口駅開設
- 市街地に上水道通水開始
- 市街地地名、町名変更

1953年〈昭和28年〉

- 弥勒寺跡第1次発掘調査実施
- 津保川・長良川大洪水

1954年〈昭和29年〉

- 塚原遺跡発掘調査実施
- 関市輸出刃物協同組合設立
- 関商工会を改組して関商工会議所を創立
- 風水害で津保川筋の四橋流失
- 富野村合併

1955年〈昭和30年〉

- 小金田村合併
- 私立関第一高等学校を市に移管、関市立関商工高等学校と改称
- 中有知村東志摩合併
- 関刃物工業協同組合設立

1956年〈昭和31年〉

- 春日神社能衣装束類、国重要文化財に指定
- 南武芸村・広見合併
- 関市公民館第1回文化祭を開催

1957年〈昭和32年〉

- 関市総合市場開設
- 両陛下国土緑化大会に来県され、関市の刃物産業を視察
- 4月13日小瀬大火発生(全焼38戸)

1958年〈昭和33年〉

- 曾代用水改良工事第1期着工

1959年〈昭和34年〉

- 弥勒寺跡国指定史跡となる
- 新市庁舎完成
- 伊勢湾台風被害甚大(死者10人、断水5日間)

1960年〈昭和35年〉

- 鶴飼遊覧の関遊船株式会社設立
- 千疋大橋完成(千疋渡船廃止)
- 広瀬惟然250年祭挙行
- 市制10周年(人口43,187人)